

地域環境ジュニアパトロール
活動報告書

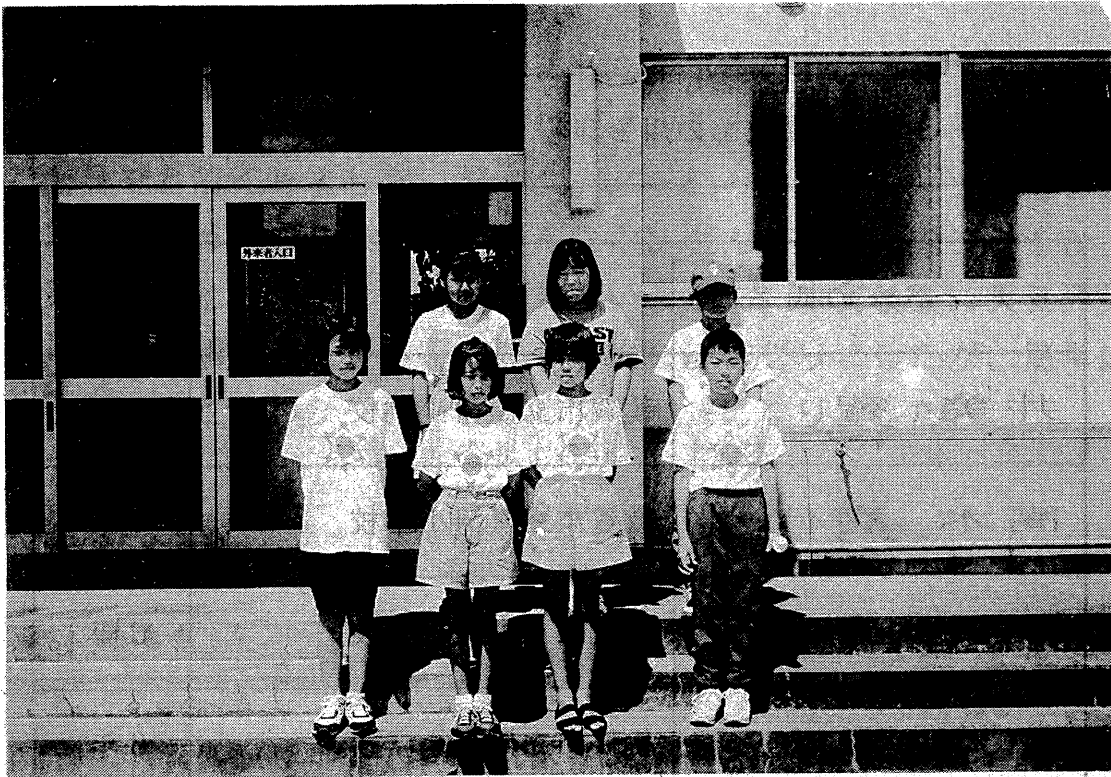
グループ名	ジュニア探検隊
-------	---------

テーマ	私たちの川を守ろう～笹の川探検～
-----	------------------

メンバーの氏名	学 校 名	学 年
井美 智	敦賀市立黒河小学校	6 年
高木 嘉代	敦賀市立黒河小学校	6 年
中島 千草	敦賀市立黒河小学校	6 年
中西 洋介	敦賀市立黒河小学校	6 年
野添 真由	敦賀市立黒河小学校	6 年
道上 美里	敦賀市立黒河小学校	6 年
南 朋子	敦賀市立黒河小学校	6 年
宮本 大樹	敦賀市立黒河小学校	6 年
山本 亜紀	敦賀市立黒河小学校	6 年
指導者氏名	島本 潤子	教職員

1. テーマを選んだ理由

私たちの学校の近くには、黒河川と助高川が流れています。昨年、本校のパトロール隊がこの2つの川について環境調査を行い、私たちの川を守っていかうと考えました。そこで今年は昨年の調査を発展させようと、2つの川が合流していく笙の川について調査を行い、川を守っていくには、環境を守っていくにはどうすればよいのか考えていきたいと考えました。



2. 活動の記録

7月26日(月)

活動計画をたてる。

笙の川の上流・中流・下流において、

①水の透視度②川のまわりの様子③川の中の生き物などを調査し、川を守っていくためにはどうすればよいのか考えていくことを決定した。

8月21日(土)

10:00～ 晴

(1) 笙の川、黒河川合流点手前

堤防より川岸までおりるのに、背丈までの草とぬかるんだ土とが邪魔をし苦労した。

やっとたどりついた川岸で調査開始。水はわりときれいで魚も泳いでいた。



(4) 笙の川下流（来迎寺橋南）

川幅は広く深さも深くなった。川底には水草が生えて川の流れて大きくゆれている。

水はだいぶにごってきた。橋の下には人が集まるのか、落書きが多く、また空き缶やたばこのすいがらが落ちていた。川底には自転車が捨てられており、びっくりした。

(5) 笙の川と敦賀湾の水がまじる所（河口）

底はもう砂になっている。まわりも砂でゴミがとでもたくさん落ちていた。水はあまりきれいではなかった。

5ヶ所を調査し一日目を無事終了。おつかれさま。

8月28日（土）10:00～ 晴

(6) 笙の川中流（岡山町・堂橋下）

川底にもまわりにも石があった。石にはぬるぬるしたコケが生えていた。小さな魚が群れをなして泳いでいた。タニシも見つけることができた。まわりには空き缶やお弁当の箱などがたくさん落ちていた。

(7) 笙の川上流（市橋）

近くには8号線があり、大きなトラックが通っているが、川は旧8号線沿いにある。

かげろうの仲間と思われる生物がいた。小さい魚もいっぱい

(2) 笙の川中流 (バイパス北)

まわりには、バイパスや紡績などの工場があるところ。水は
(1) の地点よりはほんの少しにごっていた。

(3) 笙の川、助高川合流後 (三島橋南)

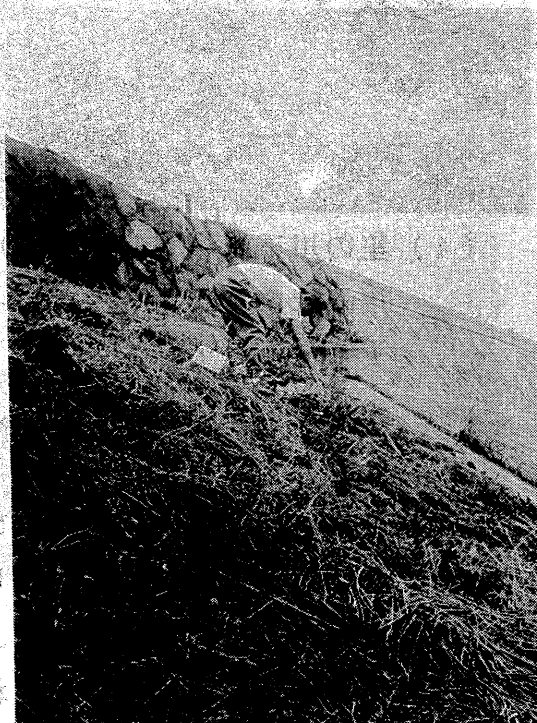
川幅が広く浅くなり、直径10~20cmくらいの石がごろごろ
と広がっていた。石の中州もできていた。

水草はあまりはえていないが、水はきれいだった。



堂橋下でのゴミ拾い

たくさんのゴミが落ちていた。



とてもきれいだった。上流 曾々木



(8) 笙の川上流 (曾々木)

川底は10～3,40cmくらいの大きな石が多かった。とびげらの仲間と思われる生き物がいた。ゴミか何かを燃やしたらしい跡があるが、石が黒く灰が少し残っている他はゴミなどなくとてもきれいだった。2日目は3ヶ所を調査しパトロール活動を終えた。

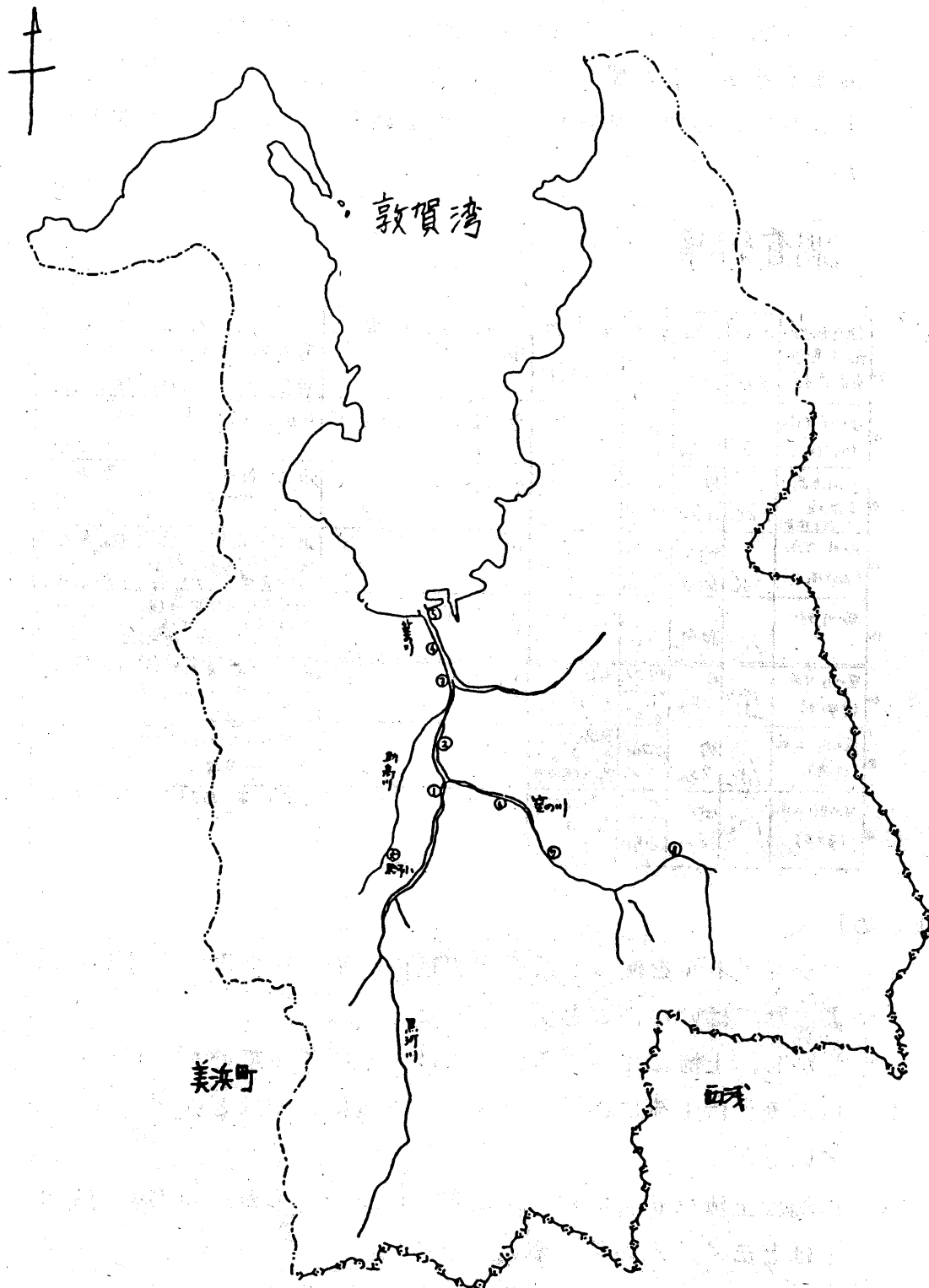
調查結果

	調査場所	水深	川幅	水深	生き物	藻の様子	その他
①	室川 黒河川 合流点手前	21℃	約 6.5m	70cm	魚はぜ	ゆたけり	草がおいしげ、ている。 魚たくさん、水はよくきれい
②	室川 中流 (バリエス)	22℃	約 12.5m	70~80cm	ズい	少し流れが速くなった ゆ、く	草がおいしげ、ている
③	室川 助馬川 合流後 (三島橋南)	22℃	約 50m	25~40cm 30~50cm		少し速い	石がある 水がきれい (10~20cm)
④	室川 下流 (新野橋南)	23℃	約 60m	25~40cm 30~50cm		ゆ、く	水がきたない。ゴミがあたりている 水草がはえている ゴミがすてきから、水からのよごれ
⑤	室川 河口	25℃	80~90m	深い		ゆたけり	細い川、水は砂→(波でもよりに、ている) ゴミがあたり、下流にトクにしたら、アサ たはく、よる川は、水が、ゴミが、は ている
⑥	室川 中流 (三島橋下)	18℃	約 25m	おじんの の、 かい 30~40cm	たにし、 小さい魚	ゆたけり	川をこに石、石たちが、はえて、いる。 ゴミがあたり、いる、きたない
⑦	室川 上流 (赤碓)	18℃	約 25m	30cm 25cm	あみんぼ、い な、魚、 、 、 、	ゆ、く	草がたくさんはえて、いる よごれ、 ない、山の近く
⑧	室川 上流 (雪ヶ平)	17℃	約 8m	15cm 10cm	25cmの なかま	少し垂い	まわりは、木で、囲まれている、下さなる、 ごろごろしている。

- (1) ペットボトルを使った透視度測定の結果、笙の川の水はそれほどよごれてはいないことが分かった。
しかし、上流に比べて下流の水は少しにごっていた。
- (2) 川の流れは上流にいくほど速く、下流にいくほどゆっくりになっていった。
- (3) 川幅は上流はせまいが下流に行くほどいくつかの川が合流していくほど広く、水の量が増えていった。
- (4) 笙の川は上流から下流に行くほどゴミが多くなり、汚れていった。

敦賀市マップ

(①~⑧ パトロール場所)



上流のきれいな水を守っていくためには、

- ・ゴミを捨てないこと
- ・汚れた水を流さないこと
- ・汚れた川をきれいにする方法を考えていくことなどが大切だと思った。

3. メンバーの感想

(井美 智)

21日にジュニアパトロールの活動を行いました。まず最初に笹の川の中流に行きました。そして川の横はばを計りました。次に深さも調べました。ぼくの腰のところまでありました。その次は下流の方へ行きました。川に住んでいる小さな虫をルーペで調べました。図鑑にのっていない虫もありました。最後にゴミ拾いをして終わりました。とてもいい経験になりました。

(中西洋介)

28日のパトロール活動に参加しました。川に着くとまず川幅を調べました。ルーペなどで生物を拡大し名前を調べました。とても小さくめだかにいた魚もありました。その他にも上流や中流、下流といろいろ調べに行きました。最後にゴミを拾って帰りました。一番下流がきたなかったです。

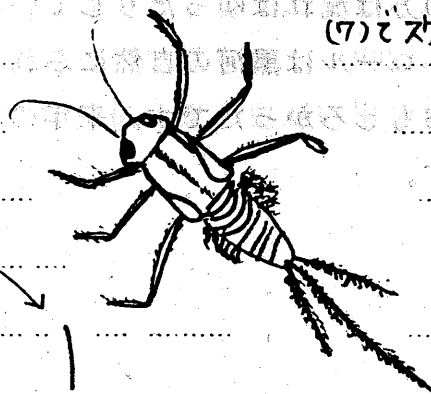
もっといろいろな生物を調べたかったけど、とてもいい経験になりました。

《生物ウォッチング》

(7)でスケッチ



← 実際の大さき



(3)でスケッチ 足の様子があまりよく
分らなかった。

(高木嘉代)

8月21日と28日で川を調べに行きました。下流から上流をつぎつぎと調べました。あまりゴミは落ちていませんでしたが、1ヶ所だけとてもきたない所がありました。中流(堂橋下)、アヤハディオの近くにゴミが落ちているのを拾いました。流れはややゆっくりとした所でしたが、調べた中には、やや速い所もありました。そうして調べていくと、とてもおもしろくなり、どこかへ寄ってみたい所もたくさんありました。

帰りアイスを食べながら、調査のことを思いうかべました。川の流れや速さや水深、生物などいろいろ調べて、やっぱりゴミは持って帰り、家で捨てたりゴミ箱に捨てたりしないと、川がまたきたなくなるし、一人一人が気を付けなければいけないのだなあと思いました。

(中島千草)

2日間、笙の川を調べました。1日目は笙の川の中流から下流の方へ行きました。中流から下流に行くにつれて汚くなりました。又、川幅も広くなり流れもゆっくりになっていきました。下流には細い川の汚れた水や上の方で流したゴミなどが全部集まるので汚いのだと思いました。

2日目は上流の方へいきました。上流の方は初めてでした。1日目とは逆に上流へ行くほどきれいに、また、川幅も細く、流れが速くなっていきました。水はとても冷たくていい気持でした。小さい魚もいました。またこんな調査を試みたいです。

(野添真由)

ジュニアパトロールに参加して笙の川の自然に少し近づけた様に思います。上流は流れは速いけど水はとても澄んでいて気持がいいと思いました。下流の方は流れはゆったりしているけど水は少しきたなかったです。

パトロールは黒河の自然にふれられてとてもよかったです。そしてとてもおもしろかったです。来年の小学生にとってもいい経験になると思います。

(南 朋子)

ジュニアパトロールの活動は初めてだったので楽しみでした。笙の川では橋の下で調べるようになりました。水の透視度や水の中にいる生物などを調べてみると、水はとてもきれいで、透きとっていました。生き物はめだかに似た小さな小さな魚がいました。川はあまり深くなくて水がきれいだったので、サンダルをはいて川へ入ってみました。とてもつめたかったです。

敦賀にはいろいろな所に川があります。きたないよごれた川ばかり見てきたけど、きれいな川がまだ残っていたので、これからは川をよごさないようにしようと思います。

(道上美里)

私はジュニアパトロールに入っていなければならないことと、しなくてもいいことがあるとわかりました。

しなければならないことは、もっと川や海をよごさないようにすること、すすんでゴミを拾ったりすること。しなくてもいいことはゴミやカンを川や海に捨てたり川や海をよごしたりすることはしないこと。

わたしたちの住む自然がずっと美しく生きていくように、私たちは大切に自然と遊んでいきたいです。

(宮本大樹)

8月28日、ジュニアパトロールで笙の川のいろいろな場所で川はばをはかったりゴミをとったりしました。一番はじめに行ったところは堂橋の下で川はばもあり、ゴミもありました。ぼくらはへんな虫もいたので、それを見ました。

次の場所はあまりいませんでした。川はばもありませんでした。橋もそんなに長くはありませんでした。その次の場所は橋も長く、川はばもあり、水もきれいでした。そしてそこにはむかでに似た足の虫がいました。いろいろなことを調べておもしろかったです。

4. 指導者の感想

本パトロール隊が敦賀市の中でも大きな川である笙の川を調査しましたが、とても身近な川でありながら、じっくりと見つめるのはこれが初めてでした。私は笙の川河口付近、松島町に住んでいますが、寮のとなりをゆっくりと流れている川の水が上流へ行くほどあれほど澄んでいて冷たく清らかであることなど全く知らずにいたのです。これが同じ笙の川だなんて思わずにはいられませんでした。子供たちと同様、上流のような水やそのまわりの美しさをいつまでも守っていかねばならないと強く感じた活動でした。

